【生育状況】「うた乃」１番花房収穫開始期の管理について

農業研究所では９月 14 日に定植した「うた乃」（二次育苗苗）の収穫がもうすぐ始まります。

「うた乃」は極早生性で、1.5 番花房が出やすく、心止まりも出やすい品種です。心止まり株の対策として、腋芽を残し２芽管理を行ってください。

摘果は、第１(１番)花房は 10 果を基本とし、1.5 番花房があるときは、１番花房と 1.5 番花房あわせて 15 果に摘果します。花数や花房数に応じて適宜調整し、連続出蕾時はしっかりと摘果してください。

乱形果の発生を抑えるため草丈は 25 ㎝程度までとし、生育を旺盛にしすぎないよう注意してください。ハウスサイド換気についても夜温が７℃前後になる頃までは開放したままで、温度が高くなりすぎないよう注意してください。温度管理の目安は最低５℃、最高 25℃です。

【参考】農業研究所での 11 月５日時点の「うた乃」栽培状況



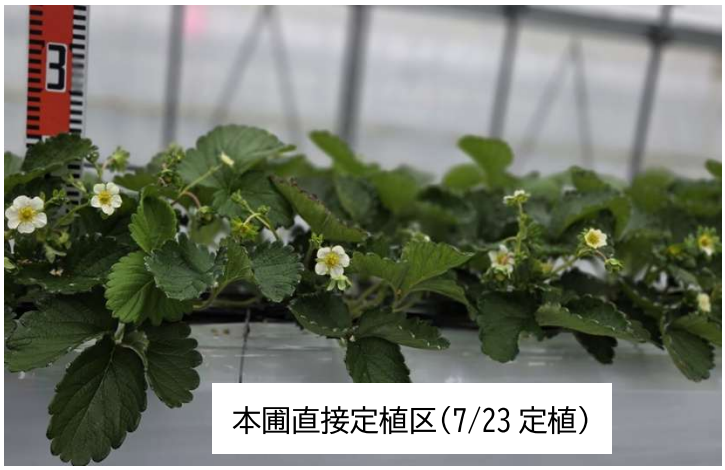
二次育苗区(9/14 定植)



連続出蕾した株



心止まり株（腋芽を残す）



施肥　　：養液土耕６号
給液 EC　　：約 0.5 mS/cm
排液 EC　　：約 0.2 mS/cm
給液量　　：株あたり約 195ml（２分×３回）/日
マルチ被覆　：10 月 19 日

生育状況
【二次育苗区（9/14 定植)】
　　草丈：25～28cm、葉柄中硝酸イオン濃度:1,275mg/l
【本圃直接定植区（7/23 定植)】
　　草丈：約 20cm、葉柄中硝酸イオン濃度:480mg/l